

つ スポーツ推進 委員会通信

ふれ愛

第27号
令和5年
3月発行

発行責任

津市スポーツ推進委員会
広報部会

tsu-sposui.com



津市スポーツ推進委員会のホームページでは最新の活動が見ることができます。
右上の QR コードからアクセスしてください。

令和4年度三重県スポーツ推進委員研修会兼第63回三重県スポーツ推進委員研究大会

とき 令和4年11月26日（土）

ところ 四日市市総合体育館アリーナ



令和4年度被表彰者 三重県スポーツ推進委員功労者表彰は、全23名でした。

津市からは、(敬称略)筒井秀喜、飯田幸則、森浩子、中山孝、米岡重夫、畠公之の6名が表彰されました。おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。

《講演》

「車いすテニスと私の人生」として、講師 斎田悟司氏（車いすテニスプレーヤー、四日市市観光大使）が自身の経験を話されました。

(プロフィール)

- ・1972年生まれ四日市市出身

12歳の時に骨肉腫により左下肢を切断、車いす生活を余儀なくされる。

そこから車いすバスケットを始めるが5人集まらないとゲームができないため、2人いれば対戦が出来る車いすテニスを始めた。

- ・1996年 アトランタ大会に出場。

- ・1999年 千葉市柏市へ、5年計画で2004年のアテネでのメダル獲得を目指した。

- ・2002年 ジャパンオープンで初優勝。

- ・2003年 国際テニス連盟（ITF）選出の「世界車いすテニスプレイヤー賞」を日本人選手として初受賞。

- ・2004年 アテネパラリンピックで国枝慎吾選手と組み、男子ダブルスで金メダルを獲得。

- ・2008年 北京パラリンピック男子ダブルスで銅メダルを獲得。

- ・2016年 自身通算6回目のパラリンピック出場となったリオデジャネイロで国枝慎吾選手と組み男子ダブルスにて銅メダルを獲得。

- ・TBS 日曜劇場「オールドルーキー」出演

夢・目標を持つと…

生活が変わる、時間の使い方を考える、生活の中で効率を考えて行動するようになる。

チャレンジする勇気、夢（目標）を持つことの大切さ、困難を乗り越える力を頂戴しました。

昼食休憩を挟み実技研修会に参加しました。

《実技研修会》

実技：SSピンポン

講師：四日市市スポーツ推進委員協議会

障がいの有無に関わらず誰もが取り組むことができる「SSピンポン」

卓球台の両サイド1/2にアクリル板を仮止め、サイドフレームを取り付け、鈴が入った球を浮かすことなく転がして相手と打ち合う障がい者スポーツです。

本来、ボールがころがる鈴音を聞いてブロック、また攻めるのですが、目を塞いだ状態ではまったく反応できませんでした。

用具準備に少々時間がかかりますが、障がいスポーツ普及に拍車が掛かってきたことを感じました。

記事：furuich



第 63 回全国スポーツ推進委員研究協議会に参加して

とき 令和 4 年 11 月 17 日（木）、18 日（金）

ところ 滋賀県草津市の Y M I T アリーナをメイン会場

令和 4 年 11 月 17 日 18 日、第 63 回全国スポーツ推進委員研究協議会 滋賀大会が開催され、津市スポーツ推進委員から 2 名が参加しました。

1 日目の表彰式では、津市スポーツ推進委員会が全国スポーツ推進委員連合から感謝状をいただきました。

続いての講演では、「今しかできないこと」の演題で東京 2020 パラリンピック トライアスロン競技 PTS4 銀メダリスト 宇田秀生氏から、楽しいお話を聞きました。小学校からサッカーを始め、高校卒業までは滋賀県代表として活躍、その後仕事中の事故で利き腕である右腕を切断。病院のベッドでリハビリ前に、すでに「パラリンピックに出場しようかな」と奥様に言ったそうです。半年後、リハビリの延長でトライアスロンを始め、デビューから 2 年で世界ランキング 1 位まで

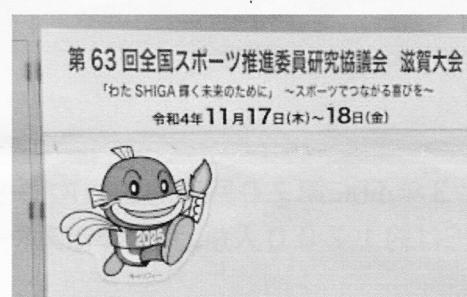


登りつめる。講演中も終始笑顔で、明るく、ポジティブ！ パラスポーツのこと、トライアスロンのことをより身近に感じてもらいたい、パラスポーツをもっと注目される「メジャー」なものにしたい。「2 年後にはパリパラリンピックが控えているので、苦しい練習の日々が続きますが、競技も人生もエンジョイしたい！ そういうお手本となるよう頑張ります！！」と締めくくり、聞いている人も明るく笑顔にしました。

シンポジウムは「わた SHIGA 輝く未来をつくる」をテーマに、また 2 日目の第 1 分科会は「わた SHIGA 輝く未来をはぐくむ」～スポーツを通じた with コロナでの地域社会の形成～をテーマに発表がありました。

スポーツ推進委員として、

- ① ニュースポーツからアウトドアスポーツ、e スポーツ、アーバンスポーツ、学校部活動などスポーツ自体の変化への対応、少子高齢化、地方の衰退、共生社会、働き方、テクノロジーの進化、ライフスタイルの変化、環境問題、格差、人権問題など社会課題の変化、要請への積極的な対応。
- ② スポーツを改革し、より良い社会の育成をリードする可能性があるということをスポーツ推進委員の矜持として、新たな活動力としていく。
- ③ 既存の枠組みや固定観念を払拭し、思い切った「リフレーミング（見つめ直すこと・捉え直すこと）」が必要。スポーツ推進委員は「何をするか？」ではなく、「どうなりたいのか？ 何を成し遂げたいのか？」という「成果」で活動を再定義する。
- ④ これまで培ってきた地域を見つめる眼差しやネットワークを活かして、人と人とのつなぎ、関係をデザインすることによって、「コトづくり」をするという「創造力」が求められる。



これらのことは、少し難しい挑戦ですが、できることから楽しく、スポーツ推進委員として活動していけたらと私は考えます。

今回は、コロナ対策のため、津市からは2名という指定でした。コロナが終息したら、人数制限なく、大勢で参加し推進委員としての資質向上を図っていきたいと思います。

記事：mitake

第70回東海四県スポーツ推進委員研究大会に参加して

とき 令和5年2月3日（金）

ところ 愛知県岡崎市岡崎中央総合公園 武道館



3年ぶりに第70回東海四県スポーツ推進委員研究大会が愛知県岡崎市で開催され、東海四県からは約1700人が、我々津市スポーツ推進委員は担当者の方を含め26人が参加した。

大会は東海四県スポーツ推進委員功労者表彰から始まり、津市からは、(敬称略)上山光一・黒川裕史・中川浩雄が表彰された。長い間、活躍されている3名に敬意を表したい。

アトラクションでは、光ヶ丘女子高等学校ダンス部、全国大会に出場する有名校であり2018年2019年と連覇している。作品は5部で形成され、心に残る作品であった。



講演はプロフィギュアスケーター鈴木明子氏。オリンピック2回出場。

彼女の話は現役に摂食障害に見舞われ、挫折を味わい、苦労の連続であった、そんな中で、支えてくれる仲間、スポンサー企業がいること等、随分助けていただいた。これからは指導者として、仕事を続けていきたい、とのことである。

最後に、やろうとする気持ちがあるか。コツコツやる姿が大事。どんな時でも、一生懸命やっている姿が大事。目標を立て進むこと。と締めくくった。

最後は、事例発表。

1 大口町 「世代を超えたスポーツのまちづくり」

～知る、観る、そしてプレイ「タグラグビー」～

2 豊明市 「気軽に楽しめるスポーツ環境を目指して」

～コロナ禍でのスポーツ推進活動の在り方～

3 刈谷市 「^{いち}一市民 ^{いち}一スポーツ」

～ニュースポーツ普及への取組み～ が3市町から発表された。

3市町の共通点は、スポーツ推進委員を各地区に派遣し、スポーツ運営のお手伝いをしていること。

新型コロナウイルス感染症は私たちの活動や意識を大きく変え、スポーツ活動においても様々な影響を及ぼしている。早く収束してほしいものである。

そして一刻も早く、皆さんが楽しく過ごせる時が来ることを願っています。

記事：maemura

功労者表彰の受賞者代表コメント

この度は東海四県スポーツ推進委員表彰を頂きありがとうございます。

「学びと気付き、出会いと成長の場」「役職が人を作る」は自分の好きな言葉で、常に人生の指針としています。3年に渡るコロナ禍で、生活様式が一変しましたが「継続は力なり」アフターコロナ、ウイズコロナ、持続可能な新時代に向けて地域の皆さんとのつながりを大切にしながら津市スポーツ推進委員会が益々発展していくように微力ではございますが皆さんと一緒に「明るく元気」を心掛けて動いていきたいと思います。感謝

記事：nakagawa

思ってもいなかった功労者表彰を頂きありがとうございました。

推進委員になった頃は名前ばかりでこれといった活動もせずに地域のスポーツイベントにただ顔を出していただけだった様に思います。受賞を機に自身のスポーツ推進委員のあるべき姿を見直し生涯スポーツの更なる普及のために今後は地域と一体となりうる懸け橋となり微力ではございますが貢献できるよう頑張る覚悟です。

記事：ueyama

ブロックだより

津ブロック

出前授業しました！

とき 令和4年11月23日（水）

ところ サオリーナサブアリーナ

最近地域のスポーツ熱がどんどん冷めて行く様な気がする。

例えば 20人 30人で歩く事ですらイベントと名が付くと、コロナに感染したらどうする？責任はどうなる？結局辞めてしまう。企業であれば特にいい顔はしないだろう。「いやいやそんな事はないよ」と元気に活動している地区や団体もあることも承知はしている。

私の地区の体育振興会は、地区の自治会から 1世帯当たり均等割で拠出金が決まっている。だが活動費が集まったとしても事業が出来ないのなら、それと体育振興会の事務局のなり手がいないと言う理由から、結局集金業務を行っていない。

ならば、10人 20人でも人が集まる所へ出向いて、スポーツ推進委員としての経験と研修してきたスポーツやゲームをプレゼン出来る所はないのかと地区の子ども会の会長と話をしたところ、津市全体の「子ども会育成者連絡協議会」の大会が1か月後の11月23日にあると聞いた。

後に津市の生涯学習課青少年担当の方が来て、大まかな大会の進行などを教えてくれた。1時間程の時間とサオリーナサブアリーナの半面のバドミントンコート 5面のスペースを自由に使えるとの事、ここ迄来たら1ヶ月しか無いがやるしかない。「やろう皆で、一人で出来ない事も沢山の仲間がいれば何でもチャレンジ出来る、たとえ満点の事業でなくても何回か繰り返し努力することで満点に近づければいいと思う。」

当日は、14名の津ブロックのスポーツ推進委員の協力があり、3人位のチームに分かれ、得点は保護者に頼み、ボッチャ、カローリング、ファミリーバドミントン、ワンバウンドふらばーるバレー・ボール（県・スポーツレクリエーション協会より借用）の4種類の種目を楽しみました。小学校の低学年の児童には少し難しい種目もありましたが、子ども会の保護者の協力もあり、何とか「出前授業」を終える事が出来ました。次回は保護者も交えて生涯スポーツを楽しみたいと思います。

最近、子ども食堂が全国の話題に上がるが、おなか一杯に食べて笑顔になれたら、今度は体を動かす簡単なスポーツやゲームをする事によって皆が笑顔になって欲しいものです。今年もまた、出前授業にチャレンジします。皆さんのご協力お願いします。

記事：sakai



“ブロックだより

安芸ブロック

安芸ブロック研修会＆会議を開催しました！

とき 令和5年2月18日（土）

ところ 芸濃総合文化センターアリーナ

安芸ブロックの18名が参加して、芸濃総合文化センターアリーナでカローリング研修会を開催しました。2レーン、5チームで総当たり戦。4チームで試合中に残りの1チームが審判を体験するようにして開始。カローリングの得点は、氷上のカーリングと同じように的の中心に一番近い側のチームのジェット数を数えてポイントとします。

芸濃町のカローリング機材一式は、当日初めて使用する新品でローラーの回転がすごく滑らか。一方、河芸の機材はローラーにゴミの付着や割れがあってガタガタ異音しながら曲がっていく状態。全チームが同じ条件で戦えるように試合ごとにレーンを移動しながら4組のジェットを体験するように対戦しました。一試合6ゲームでやったのですが、その初戦が6ゲーム終えて同一得点となっていました。カローリングのルールでは、ゲーム中に青・黄・赤（各選手の2投目）のジェットがサークル内に止まったときに小数点以下6、4、2桁のポイントとなることから小数点差で勝敗が付きました。何年もカローリング指導してきましたが、小数点差で勝敗がついたのは初めてでした。盛り上がったため、午後1時近くまで試合が続き、その後昼食をとりながら表彰式とブロック会議を行いました。審判体験を積みつつ、親睦が深まったブロック事業となりました。

記事 : tanizaki



★★★編集後記★★★

今回、ふれ愛 27 号です。

スポーツ推進委員の行事もコロナ前の状況まで復活してきたのではないでしょうか？各ブロックにおいても主管事業、主催事業が予定通り開催できたように聞いています。本年度の第 70 回東海四県スポーツ推進委員研究大会愛知大会は、当初 2 日間開催予定でしたが、2 月 3 日（金）の 1 日に凝縮しての開催でした。本来 2 日目に開催される 3 市町の事例発表および有識者講評まで聴いたら、終了予定時刻を大幅に超過していました。イベントの開始時刻と終了時刻は予定どおり行われることが望ましいと感じました。もし、津市で当大会等が開催され、終了予定時刻を超過する場合は、事前に参加者の理解を得てから進めるようにしたいと思います。

岡崎市が、現在 NHK 大河ドラマ「どうする家康」のお膝元の岡崎市だったこともあり、会場となった岡崎

中央総合公園武道館のロビーでは、多くの家康グッズが販売されており盛況でした。いつものことながら、関連地域の経済を回すほどの大きな影響力のある大河ドラマは非常に重要な媒体であると改めて感じました。

2011 年 1 月から「江～姫たちの戦国～」が放送されたとき、津城にご縁があることから近隣の名所・旧跡が取材を受け、放送されていたことを懐かしく思い返しました。

今回から、地区便りとして地域での活動を掲載する予定でしたが、記事が集まりませんでした。

tsusposui@gmail.com に記事 & 写真を送っていただければ掲載検討します。地区代表の広報部会メンバー投稿をお待ちします。

コロナ克服後の新しい津市スポーツ推進委員会の活発な活動を皆さんに広報していくため協力ください。

編集長：furuichi

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

TEL:059-229-3254

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>